

私達は「保険で良い歯科医療」の充実を願っています

高すぎる窓口負担——治療が必要なのに受診を控えてしまう

民間調査によれば、歯医者さんに1年以上「行きたいけど行っていない」人は5割強と多く、その理由の23.1%が「お金がかかる」です。保険の治療でも現役世代は3割負担、高齢者は1割と高いことが受診を控える大きな理由です。

早期発見、早期治療で、重症化し歯を喪失する前に治療がおこなえるよう、高い窓口負担の引き下げが必要です。

「保険のきく範囲を広げてほしい」が最も切実な要求

——厚生労働省でも同様な調査結果——

歯医者さんにかかるときの患者さんの心配は、「歯科治療にはいくらお金がかかるのか？」ではないでしょうか。風邪など医科の治療はほとんどが保険で給付されるのに、歯科では保険のきかない治療があります。特に新しい技術は、なかなか保険に取り入れられません。このため患者さんの歯科医療の希望のトップは「保険のきく範囲を広げてほしい」です。

「保険で良い歯科医療の充実」を実現させましょう

多くの歯科医師は保健予防の改善や患者さんがお金の心配をせずに受診でき、丁寧に良い治療ができること、重症化を防ぐために早期発見・早期治療が出来るよう保険治療の充実を願っています。

歯科の「保険のきく範囲を広げてほしい」という患者さんの強い要求は、多くの歯科医師の願いでもあります。保険治療の拡充を願う歯科医師とともに力をあわせて、保険で良い歯科医療の充実の実現にむけた運動をすすめてみましょう。

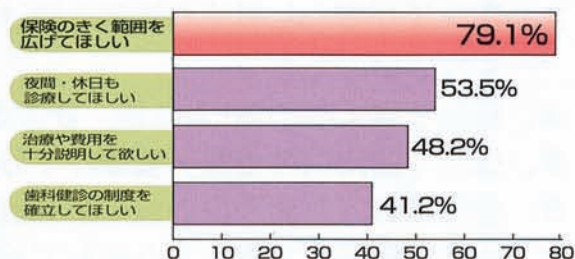
現在治療に行っていない理由は何ですか？

お金がかかるから

23.1%



「保険のきく範囲を広げてほしい」がトップ



「保険で良い歯科医療を」連絡会アンケート調査（2006年）



「保険で良い歯科医療を」全国連絡会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-5-5 新宿農協会館 6F 保団連内 電話：03-3375-5121 (代) FAX：03-3375-1862

「保険で良い歯科医療を」全国連絡会は以下の団体と個人で構成されています。

- 全日本民主医療機関連合会 ●全国保険医団体連合会 ●日本生活協同組合連合会医療部会
- 「保険でよい歯を」東京連絡会 ●歯科医療を良くする千葉県連絡会
- 「保険でより良い歯科医療を」愛知連絡会 ●「保険でより良い歯科医療を」長野県連絡会

いつでも、どこでも、だれもが、お金の心配のいらぬ 「保険で良い歯科医療」の実現を求める請願署名

衆議院議長殿・参議院議長殿

年 月 日

【請願主旨】

深刻さを増す不況の中、むし歯や歯周病などの治療をしたくても受診を控えたり、入れ歯が合わなくなっても新しく入れ歯を作ることをあきらめたりする患者が増えています。

多くの患者・国民は医療費の窓口負担軽減と、歯科の保険給付範囲の拡大を切望しています。

政府の医療費抑制政策の結果、歯科医療費は減少しつづけ、保険の給付内容も改悪されたため、入れ歯などを作る歯科技工士や、口腔の衛生指導を行う歯科衛生士は、低賃金と労働条件の悪化により、離職や雇用不安も増大するなど、歯科医療は崩壊寸前になっており、保険で良い歯科医療の提供が困難になっています。

不況の今こそ、いつでも、どこでも、だれもが、お金の心配のいらぬ「保険で良い歯科医療」の実現は、患者・国民、歯科医療従事者の共通の願いです。

そのため、国の医療予算を増やして、2010年の診療報酬改定などで以下の事項を実現してください。

【請願事項】

- 1、安心して歯科治療が受けられるよう、現在3割の窓口負担を軽減してください。
- 2、小児は永久歯が生えそろう義務教育修了まで、歯科の窓口負担を無料にしてください。
- 3、高齢者が安心して歯科治療を受けられるよう、歯科の窓口負担を無料にしてください。
- 4、保険で良く噛める「入れ歯」ができるようにしてください。
- 5、保険で歯周病の治療・管理が十分にできるようにしてください。
- 6、金属床の入れ歯や白い歯の被せ物など、日常の治療で普及している保険外の治療は保険でできるようにしてください。

氏 名	住 所